



2019年6月24日

## BMW の新しいラインアップ新型 BMW X7 発表

最上級ラグジュアリーSAVとして存在感あるデザインと、4輪エア・サスペンションによる上質な乗り心地、最新の運転支援機能を装備。

ビー・エム・ダブリュー株式会社（代表取締役社長：ペーター・クロンシュナーブル）は、スポーツ・アクティビティ・ビークル（SAV）の最上級ラグジュアリー・モデルとして、高級感溢れる威風堂々としたデザインと、ラグジュアリー・モデルに相応しい乗り心地、最大7人乗りを可能とする SAV としての高い実用性を備えた新型 BMW X7 を、全国の正規ディーラーにて、本日より販売を開始すると発表した。なお、納車開始は2019年8月以降を予定している。

BMW は、2018年12月に最上級ラグジュアリー・クーペ新型 BMW 8 シリーズを発表して以来、BMW のラグジュアリー・セグメントのモデルを継続的に発表し、BMW の「最上級ラグジュアリー」を再定義してきた。今回新たにモデル・ラインアップに追加された新型 BMW X7 は、BMW が誇る本格的な SAV としての性能を備えながら、BMW のラグジュアリーな世界観を両立させた新型モデルである。

### メーカー希望小売価格（消費税込み）

モデル	希望小売価格 (消費税 8%込み)	希望小売価格 (消費税 10%込み)
BMW X7 xDrive35d	¥ 10,790,000	¥10,990,000
BMW X7 xDrive35d デザイン・ピュア・エクセレンス	¥ 12,060,000	¥12,290,000
BMW X7 xDrive35d M Sport	¥ 12,420,000	¥12,650,000
BMW X7 M50i	¥ 15,660,000	¥15,950,000

- 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金（消費税を除く）、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。
- 右ハンドル仕様。
- 2019年10月1日以降に配車・登録される車両には消費税率 10%の適用が予定されています。

全長 5,165mm、全幅 2,000mm、前高 1,835mm という存在感溢れる新型 BMW X7 の体軀は、全体を水平な直線で形作られ、最上級モデルとしての堂々たる佇まいを備えたデザインとなっている。フロントのキドニー・グリルは、昨今の BMW スポーツ・モデルの様な横型ではなく、縦型に近い形状となり、SAV らしい屈強な印象を際立た

せ、キドニー・グリルの横に繋がるように配置されたヘッドライトは、地面と水平となるようなフラットでモダンなデザインが採用されている。ボディ側面には、優美かつ印象的な一本のキャラクター・ラインが刻まれ、クローム加飾が施されたガーニッシュと共に、シンプルかつ上質なデザインとなっている。

3,105mm というホイールベースにより実現した余裕のある室内空間は、2列目 / 3列目の乗員が長時間快適に過ごせるラグジュアリー感溢れる空間となっている。そして、6人乗りモデルでは、2列目が2席の独立したコンフォート・シートとなり、広々と贅沢な空間を実現している。

シートには、厳選した牛革を使用した BMW Individual メリノ・レザーが標準装備となり、さらにセレクト・レバー、Start / Stop ボタン等に、透明度の高いクリスタルを採用することで、室内空間全体でラグジュアリーさを味わうことができる。

\*: スタンダード・モデルを除く。

新型 BMW X7 は最上級ラグジュアリーに相応しい快適な乗り心地を提供している。ディーゼル・モデルは、最大トルク 620Nm/2,000-2,500rpm と、低回転から強大なトルクを発生する直列 6 気筒ディーゼル・エンジンを搭載し、ストレスの無い加速と安定したクルージングを実現している。また、路面状況を各ホイールのセンサーで感知し、必要に応じて上下それぞれ 40mm の間で車高を自動調整する 4 輪アダプティブ・エア・サスペンションや、カメラによって進行方向の路面状況を詳細に確認し、サスペンションだけでなく、ダンパー調整やロール回避を最適化するエグゼクティブ・ドライブ・プロを採用することで、空を飛んでいるかのような滑らかな乗り心地を実現している。

さらに、新型 BMW X7 M50i は、V 型 8 気筒ツインターボ・ガソリン・エンジンを搭載し、最高出力 530PS (390kW) / 5,500-6,000rpm を実現することで、0-100km/h 加速は 4.7 秒を達成すると共に、M スポーツ・エキゾースト・システムを搭載するなど、よりスポーツ走行性能を高めたモデルとなっている。デザイン面でも、スポーティさを際立たせるセリウム・グレー・キドニー・グリル、ミラー・キャップ、エア・ブリーザーが優雅さと力強さを演出している。

そして、新型 BMW X7 には、高速道路での渋滞時にドライバーをサポートする「ハンズ・オフ機能付き渋滞運転支援システム」や、35km/h 以下での走行時に直近の 50m 軌跡を記憶し、通った道を自動で後退可能な「リバース・アシスト」を含む、最新の運転支援システムが搭載されている。さらに、BMW として初めてトラフィック・サイン・アシスト（速度制限認識）機能が搭載されており、走行中にドライバーに対して制限速度を通知し、安全な走行をサポートする。

なお新型 BMW X7 には、3 年間の主要メンテナンス無償提供、タイヤ/キーの破損や紛失の際の費用サポート等が含まれる「BMW サービス・インクルーシブ・プラス」が全車に付帯されている。この「BMW サービス・インクルーシブ・プラス」は、2016

年より BMW 全モデルに標準装備された新しいメンテナンス・パッケージであり、顧客に対してより安心なドライブを提供している。

### ハンズ・オフ機能付き渋滞運転支援機能を搭載

また、これらのモデルには BMW が国内認可取得モデルとして初めて導入したハンズ・オフ機能が搭載される<sup>\*1</sup>。「ハンズ・オフ機能付き渋滞運転支援機能」とは、高速道路<sup>\*2</sup>での渋滞時において、ドライバーの運転負荷を軽減し安全に寄与する運転支援システムである。この機能は、ドライバーが絶えず前方に注意するとともに、周囲の道路交通や車両の状況に応じて直ちにハンドルを確実に操作することができる状態にある限りにおいて、ステアリングから手を離して走行が可能<sup>\*3</sup>となる。

\*1:顧客の要望に応じて、7月より当該機能を有効化するソフトウェアを提供する予定。

\*2:高速自動車国道法に定める高速自動車国道、及び指定都市高速道路に分類される道路が対象。

\*3: SAE International (Society of Automotive Engineers) が定めるレベル2の段階であり、自動運転ではなく、前方注視が必要となるなど、ある一定の条件が必要。

### その他、最先端の運転支援システム

今回追加された新型モデルには、高性能3眼カメラ、高性能プロセッサーおよびレーダーによって、より精度と正確性が向上した、最先端の運転支援システムを量産グレードに標準装備している。アクティブ・クルーズ・コントロール（ストップ&ゴー機能付）、レーン・チェンジ・ウォーニング（車線変更警告システム）およびレーン・ディパーチャー・ウォーニング（車線逸脱警告システム）、ステアリング&レーン・コントロール・アシスト、サイド・コリジョン・プロテクションおよび衝突回避・被害軽減ブレーキ（事故回避ステアリング付）、クロス・トラフィック・ウォーニングが装備されている。

さらに標準装備となるパーキング・アシスタントには、リバース・アシスト機能が採用されている。これにより、車両が直前に前進したルート最大50mまでを記憶し、その同じルートをバックで正確に戻ることが可能となる。この機能を活用することで、例えば、日本に多数点在する細い道での対向車とのすれ違いに困った際など、安全かつ正確に、元のルートに復帰することが可能となる。

### BMW Intelligent Personal Assistant

#### (BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタント)

BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントは、AI 技術を活用することで、音声会話だけで車両の操作、情報へのアクセスが可能となる BMW 最新の機能である。今までの音声入力と異なり、より自然な会話に近い言葉で、ドライバーの指示や質問を理解し、適切な機能やサービスを起動可能にする他、使用頻度に応じてドライバーの好みを学習し、長く乗り続けるほどドライブにおける真のパートナーとしての役割を担うことが可能となる。そして、BMW のインテリジェント・パーソナル・アシスタ

ントの最たる特徴は、ドライバーがシステムの「名前」を自由に付けることが可能な点である。例えば、BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントを起動する際、「OK, BMW (オーケー・ビー・エム・ダブリュー)」だけでなく、「M50 (例：エムゴーマル)」と、呼びかける言葉を任意に設定することが可能なため、より身近な存在としてストレス無く使用することが出来る。

### BMW コネクテッド・ドライブについて

新型 BMW X7 には、BMW コネクテッド・ドライブを標準装備している。BMW コネクテッド・ドライブは、車載通信モジュールにより、ドライバー、クルマ、そして取り巻く情報を IT ネットワークで繋ぐことで、「もしもの時に備える万全の安全性」、「カーライフを進化させる革新の利便性」、「充実の情報と最新のエンターテインメント」を提供する総合テレマティクス・サービスとして 2013 年に輸入車として初めて導入された。また、スマートフォン向けアプリの導入により、車両情報やニュース等へのアクセスを可能にし、顧客の利便性を向上させるサービスを提供してきた。さらに、2018 年 8 月には、より操作性・利便性を高めた新たな機能を追加すると共に、新しいスマートフォン向けアプリ「BMW Connected」を導入し、車とユーザー、情報をシームレスに繋げ、より快適でスマートなモビリティ・ライフをサポートする新しいパーソナル・アシスタント・サービスとして生まれ変わった。

### 主な車両諸元

- **BMW X7 xDrive35d**  
全長 5,165mm、全幅 2,000mm、全高 1,835mm、ホイールベース 3,105mm、車両重量 2,420kg、車両総重量 2,805kg、排気量 2,992cc、直列 6 気筒ディーゼル・エンジン、最高出力 265PS (195kW) /4,000rpm、最大トルク 620Nm/2,000-2,500rpm。
- **BMW X7 M50i**  
全長 5,165mm、全幅 2,000mm、全高 1,835mm、ホイールベース 3,105mm、車両重量 2,580kg、車両総重量 2,965kg、排気量 4,395cc、V 型 8 気筒ガソリン・エンジン、最高出力 530PS (390kW) /5,500-6,000rpm、最大トルク 750Nm/1,800-4,600rpm。

本件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先:

BMW カスタマー・インタラクション・センター  
フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>